

世界社会奉仕委員会 活動計画

世界社会奉仕委員会
委員長 京谷 知明

(基本姿勢)

基本方針として、水管理、識字、保健・飢餓問題を重点に「IM 又はクラブ単位でのクラブ主導型のWCS (世界社会奉仕) 活動」を推奨する。さらに、クラブにおけるWCSへの関心を高める為、ロータリーファミリーの方々にも直接、世界奉仕活動に参加して頂き、ロータリアンである喜びを感じてもらふ活動を推進する為に、クラブの自主性を最優先し、クラブが目標を達成する上で必要な情報と支援を提供する。

(活動計画)

発展途上国の飢餓、貧困、疾病、教育、環境等の改善向上に手を差し伸べる各クラブのWCS 活動に対し、地区 WCS ファンドを活用し「プロジェクト」の支援を行なう。また IM 単位に担当委員を決め、単独での WCS 活動未実施クラブへの支援や、数クラブ共同のプロジェクトの情報と支援などを提供し、単独では果たし得ない世界的社会奉仕の IM 単位での実現に対しても支援していきます。

1. 地区WCSファンドの活用
地区内のクラブから申請されている WCS プロジェクト「地区WCSファンド申請」を審査し 2640 地区WCSファンドの適正運用に努め、プロジェクトの支援を行なう。
2. 国際奉仕委員長会議の開催
IM 単位ごとに担当委員を決め、地区内各クラブに対して、WCS プログラムに対する理解の増進を図り、WCS 活動の実施を推進する
3. 地区内クラブへの情報と支援
他国のロータリー・クラブからの援助要請情報など支援地区内の情報を地区内クラブに提供し、クラブ又は IM 単位で意義ある活動が企画・展開出来る様にする。
4. 海外視察の実施
クラブにおけるWCSへの関心を高める為、また実際にWCS実施国に赴き、国際規模の問題やWCSプロジェクトを実施する重要性について、ロータリアンの理解を深める為に WCS 海外視察を実施する。